

## HIV 感染が血友病患者 QOL に与えた影響に関するアンケート調査

### 研究分担者

竹谷 英之 東京大学医科学研究所附属病院関節外科科長（講師）

### 研究協力者

大平 勝美 社会福祉法人はばたき福祉事業団

柿沼 章子 社会福祉法人はばたき福祉事業団

瀧 正志 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

鈴木 隆史 荻窪病院

小島 賢一 荻窪病院

近澤 悠志 東京医科大学

長江 千愛 聖マリアンナ医科大学

村上 由則 宮城教育大学

稲垣 有佐 奈良県立医科大学

後藤 美和 東京大学

牧野健一郎 新王子病院

佐藤 真紀 東京大学医科学研究所

### 研究要旨

HIV が血友病患者に影響を主眼として QOL 調査を行う。治療薬が急速に開発・改良された結果、HIV 感染症は当初不治の病とされたが、現在では内服治療を中断しなければ致死的な合併症がほぼなくなり、HIV 感染患者の高齢化が起こっている。過酷な時代を過ごし現在も治療を続けている患者の QOL 状況を調査し、高齢化した患者に残る薬害被害の影響の存在とその程度を明らかにすることを目的としている。

### A. 研究目的

本研究の他の分担研究で行われる研究内容との重複を避け、血友病治療を行っている各診療科医師、看護師、理学療法士、診療心理士、血友病患者と幅広く研究分担者を選出し、それぞれが 1) 治療、2) 心理、3) 身体機能の3つのテーマに関する QOL 調査票を作成する。作成した QOL 調査票を用い、患者記入型のアンケートを行い、その結果を集積・解析し、血友病患者の HIV 感染の影響を明確にする。またその結果から提言をまとめる。

### B. 研究方法

- 1) 研究対象：インターネットによるアンケート調査に協力頂ける血友病
- 2) 研究期間：2019年4月から2021年3月まで
  - ア) QOL 調査票の作成：2019年4月から2020年3月末まで
  - イ) アンケート調査：2020年4月～2020年6月
  - ウ) アンケート結果の集積・解析：2020年7月～2021年2月
  - エ) アンケート調査報告書作成：2021年3月
- 3) 検討項目
  - ア) 対象患者の一般情報：年齢、性別、居住地など

- イ) 治療：血友病の治療状況、HIV・HCV 感染症の治療状況など
  - ウ) 心理：治療に対する満足度、就学・就労環境など
  - エ) 身体機能；日常生活状況や機能障害の程度など
- 4) 倫理面の配慮：研究代表施設での倫理委員会承認済；承認番号 2019-50-1219

## C. 解析結果

2019 年末に倫理委員会での承認を得て、3 月から調査票によるアンケート開始予定

## D. 考察とまとめ

調査未実施のため特になし

## F. 健康危険情報

特になし

## G. 研究発表

特になし

## H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
  2. 実用新案登録
  3. その他
- 特になし